

# 広報

# いまり

会館市初編 回4第

昭和29年8月19日  
第3種郵便物認可

毎月1日発行

定価1部24円

昭和55年11月1日

伊万里市役所総務部秘書課発行 No. 321



健康は一人で歩いてこないと、秋の日ざしを  
いっぱい浴びて体力づくりに励んでいます。  
そこには「人も健康」「まちも健康」の社会  
総健康運動が展開されていました。

'55

11月

(写真は、国見台で行われた県民体育大会のジョギング10/4)



# 豪雨の災害復旧に全力

## 第4回 臨時市議会

第4回臨時市議会は、10月20日に開かれ、昭和55年度一般会計補正予算2億5,413万円について審議可決しました。

今回の補正は、8月の集中豪雨による災害復旧事業費と災害関連経費などの補正を行ったものです。

県道伊万里～松浦線が伊勢越と竹の古場公園付近の2か所で地割れ、陥没の発生で全面交通

止となっているため、辻の堂～伊勢越間の旧開拓道路を整備する工事費1,100万円を、また、豪雨により損傷した市道や橋りょうの補修工事費800万円を追加しました。

農林水産施設の災害復旧では

農地災害50か所に4,119万円を農業用施設災害103か所の復旧費に8,972万円を追加しました。

公共土木施設の災害復旧では75か所に1億255万円を、都市災害では国見台公園地内の法面崩壊復旧費に216万円を追加しました。



## 特別委員会の議会活動

議会は、常任委員会のほかに特別委員会を設置し、議会休会中に活動しています。6月定例市議会以降の主な活動は次のとおりです。

### ●公共下水道調査特別委員会

今治市、丸亀市の下水道の実態を視察（7月）  
終末処理場の埋立認可後の工法などについて説明を求め、公共下水路の排水対策などの促進について強く要望しました。

況を視察（7月） 不況債による事業については市内の零細企業への早期発注を、商店街対策については冷夏による影響を考慮する必要があること。企業誘致については今年度ぜひ実現をみるよう要望しました。工業団地の条件整備、港湾、道路の新設改良など、交通網の整備が急務であることを要望しました。

### ●不況対策調査特別委員会

小野田市、尾道市、呉市の状

### ●環境センター建設調査特別委員会

宮崎市、別府市のゴミ処理場を視察（7月）

用水については環境センター運営に支障がないように日量120トンの確保に努めること。

建設にあたり地元と種々の地域整備について協議がなされているが、他地域の事業にしわ寄せとならないように別個に予算措置を講じるよう要望しました。

あるのが本場で少くとも、「菓子まつり」は日本一さかんであるべきで、二十五周年の全九州沖縄銘菓展を機会にこれから大いに盛りあげて伊万里の名物にしななければならない。

いま伊万里は観光のポイントとして「焼物とフルーツ」で売り出しているが、そうなる「焼物とお菓子のフルーツ」となりキャッチフレーズに重み加わる。しかも前述の通りお菓子のみなもとは果物で果物を水菓子ともいい、最近嗜好の多様化からお菓子単品よりも果物と組合わされたものが人気があり、お菓子と果物は双助の関係にある。

この頃のお菓子は味覚だけでなく視覚が必要で、さらに聴覚まで要求されている。またお菓子ほどアイデアに富んだものはなく、地名や産物に限らず「いらっしやいませ」の話し言葉までお菓子の名前になっている。

それはともかくお菓子の折角の歴史的由緒を無駄にせず、その顕彰と共にお菓子を伊万里の名物として、「お菓子のふるさとづくり」に力をつくしたい。

(竹)



# 伊万里小が新校舎に全面移転

老朽化のため脇田町に移転新築工事を進めていた伊万里小学校の新校舎がこのほど完成し、移転作業を10月24日から行ない28日より新校舎で授業を開始しました。

新校舎は旧校舎から約500m北側の脇田町の丘陵地（伊万里商業高校横）に鉄筋コンクリート3階建2棟が建設されており教室は普通教室26室と理科、図工、音楽などの特別教室18室があり、これまでの校舎と比べて床面積で約900㎡、敷地では約14,700㎡広がっています。

これまでの校舎は昭和8年に建設されたもので、最近では天

井のしっくいや壁面がはげ落ちるなど老朽化がひどく危険となり、建直しの必要に迫られたために、総事業費約9億1,100万円をかけ昭和54年度から2か年

計画で移転工事をしたものです。移転時には全児童850人が机



▲校舎移転で机や椅子を運ぶ児童たち

椅子を持って住みなれた旧校舎に別れを告げていました。

## 環境センター建設に着手

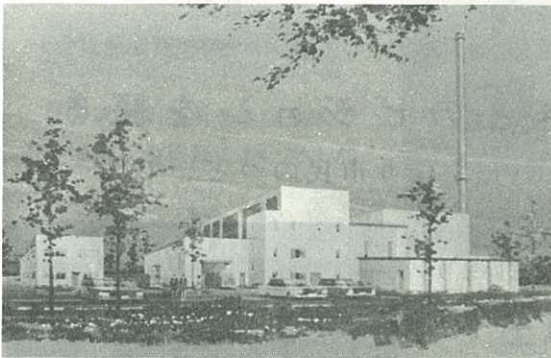
ゴミの処理施設「環境センター」の起工式が10月31日、黒川町立目の建設予定地で行われました。

環境センターは本年度から2か年継続事業として総事業費約11億500万円をかけて建設され

るもので、約1万7,700㎡の敷地に可燃物と不燃物の処理施設を統合し、1日当たり60トンの可燃物と20トンの不燃物を処理する能力を有するものです。

これは、排出されるゴミが大幅に増加し、これからも増大が予想されるため、ゴミ処理の抜本的対策として計画を進めてきたものです。

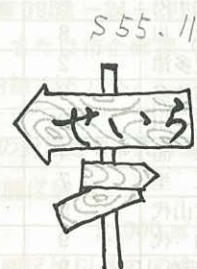
施設の完成は57年1月末で、稼働は4月からの予定です。



▲環境センターの完成予想図

お菓子の神様は垂仁天皇の時常世国に使いされて、非時香菓である橘を持ち帰られた田道間守命といわれ常世国の中国江南地方から船で最初に着かれたところが伊万里の港、そして最初が伊万里神社の鎮座されている岩栗山というので、伊万里神社の東側に菓祖中島神社佐賀県分社が建てられているが、今年がその二十五周年に当り去る十月十七日ちようどトントン祭りの安暮の日に式典が、そして十七日から二十日まで玉屋で全九州沖縄県奉納銘菓大展示会が行われた。

お菓子の「菓」はくさかんむりに果実の果が書かれ辞書によれば昔は人工による間食品は自然の果実が間食とされたのでこの字になったとあり、そのもの橘が日本で一番に植えられたのが伊万里であるから菓祖の本社はむしろ伊万里に





## 地区住民が結束をめざす

大川町山口に「手づくりの村」開村



◀公民館広場で遊ぶ子供たち

10月19日、大川町山口で香月知事、竹内市長らが列席し、地区民総出の「手づくりの村」落成式が行われました。

この「手づくりの村」は国の農山漁村生活改善施設整備事業の一環として進められていたもので、農村の近代化によって薄らぎがちな住民相互の連帯感や心のきずなを強め、公民館を中心に地区がしっかりと一つにまとまるための拠点づくりをめざし、山口地区が指定を受けました。

建設にあたっては、国からの補助の他、地区の人たちが交代で奉仕作業をしたり、資金を募って公民館広場の整備に力を注ぎました。

広場にはブランコやすべり台鉄棒、砂場、相撲場など子供のための遊具のほか、周囲には花壇を作り、バレーボールのコートやソフトボール用のバックネットも備えて、スポーツやレクリエーションがだれでも手軽にできるようになっています。

山口地区では、これらの施設を十分に活用して、明るい村づくり、仲間づくりをしようと張り切っています。

## 市の人口

10月1日現在

総人口	61,281人	(+70)
男	29,094人	(+27)
女	32,187人	(+43)
世帯数	16,408世帯	(+10)
市民課調べ、( )は前月比		

## 11月の市民会館行事予定

- 毎週金曜日 9時～15時 運転免許更新時講習
- 3日 子供クラブ話し方大会
- 7日 精神薄弱教育研究大会
- 8日 九州交響楽団演奏会
- 9日 慰霊祭(市遺族連合会)
- 12・13日 すわらじ劇団公演
- 16日 日舞発表会(文化祭)
- 18日 人形劇団ブーク公演
- 22日 中学校音楽発表会
- 26日 心身障害児就学指導委員会
- 30日 小学校音楽発表会

## 地区別飲酒運転検挙者数

(昭55.9.30現在伊万里警察署調)

地区	1月～8月	9月	累計
伊万里	6	0	6
大坪	4	0	4
牧島	8	1	9
立花	7	0	7
大川内	6	1	7
黒川	8	0	8
波多津	2	1	3
南波多	3	1	4
大川	2	0	2
松浦	4	0	4
二里	7	0	7
東山代	5	0	5
山代	9	0	9
(市外)	19	0	19
計	90人	4人	94人

## ふるさとのビジョンを語る

愛 LOVE いま り 市民のつどいで

よりよく伊万里を愛する心の運動——「愛 LOVE いま り」の市民のつどいが、10月12日市民会館で開かれました。

この市民のつどいは、ふるさと愛の再確認を出発点に、伊万里市の未来を市民サイドから考え、実践していこうと、伊万里青年会議所の呼びかけで連絡協議会を結成し「みんなで創ろう明日の伊万里」をテーマとして行われたものです。

当日は約600人の市民が集まり、記念講演やパネルディスカッションを行いました。



▲市民会館で行われた市民のつどい

パネルディスカッションでは山下代議士、竹内市長、地元県議団がパネラーとなって、会場からの質問や提案をもとに将来の伊万里市のビジョンについて熱心に討議を行いました。



# 8日に九響演奏会

交響詩伊万里1周年記念で 團 伊玖磨指揮

交響詩伊万里の1周年を記念して、團伊玖磨氏の指揮により九州交響楽団演奏会が、11月8日午後6時30分から市民会館で開かれます。

これは昨秋、市制25周年記念事業として交響詩伊万里の製作発表会を催したとき、作曲家の團伊玖磨氏が都合で指揮をすることができず、その折に1周年を記念して演奏会を行うことが約束され、今回の公演となったものです。

演奏曲目は『交響詩伊万里』をはじめ、グリーンカの歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲、グリークの『ペールギュント』組曲、ドボルザークの交響曲第9

番ホ短調『新世界より』などで伊万里市出身のソプラの歌手・前田美澄さん（福岡市在住）や伊万里市混声合唱団（80名）も出演します。

入場料は前売り2,500円（全自由席＝当日3,000円）で、しのはら楽器店・中央楽器伊万里店・玉屋・ユニード・ヤマハ楽器器文化堂・市観光協会などで発売しています。



## 特設人権相談

特設人権相談所を次の地区で行います。お気軽においでください。

### 【黒川町】

- ▲日時 11月7日 10時～15時
- ▲場所 黒川公民館
- ▲担当 人権擁護委員  
古竹 福市氏

### 【大川町】

- ▲日時 11月12日 10時～15時
- ▲場所 大川公民館
- ▲担当 人権擁護委員  
高添 門司氏

### 【市役所】

- ▲日時 11月18日 10時～15時
- ▲場所 市役所市民相談室
- ▲担当 人権擁護委員  
多久島勝次氏

## 土地の売買は届け出が必要です

一定規模以上の土地について土地売買などの契約をする場合「国土利用計画法」によって当事者は事前に市町村長を経由し知事に届け出なければなりません。

届け出をしないで契約したり虚偽の届け出をしたりすると処罰される事もありますのでご注意ください。

ツベルクリン・BCG  
11月は休みます



9月

貿易実績は16億9,090万円  
で前月比2億2,734万円の増。

【輸出】 実績なし

【輸入】 16億9,090万円

【船舶の入港】 16隻

（日本船3、外国船13）

【寄港上陸許可者数】

311人（フィリピン157人、  
中国77人、韓国47人、イン  
ドネシア28人、英国2人）

## 精神衛生大会を開催

11月14日 市農協会館で

佐賀県と県精神衛生協会は次のとおり「第18回佐賀県精神衛生大会」を開催します。

▲日時 11月14日（金）

午後1時から

▲場所 市農協会館大ホール  
〔特別講演〕「スポーツと心」

講師 佐賀新聞編集局長

河村健太郎氏

詳細についてのお尋ねは県庁企画室(☎0952-24-2111内線2222) または市企画課(☎☎2111内線415)へ。

届け出の対象となる売買面積

・都市計画区域内

5,000㎡以上

・都市計画区域以外の区域

10,000㎡以上



# あなたと考える

# 国鉄・松浦線の

1980年代は地方の時代——と、いわれるとき、その地方の動脈的存在であるローカル線が、ただ単に赤字線ということで切り捨てられようとしています。地域の産業や通勤通学など、わたしたちの生活と切り離せない生活交通を守るために、みなさんとローカル線問題について考えてみましょう。



## 市民の生活交通を守ろう

国鉄では赤字ローカル線の松浦線を廃止しようとしています。

国鉄が8月27日に発表した昨年度の決算、監査報告書で、県内を走る松浦、佐賀、甘木の3線を廃止、バス転換の候補線として示唆しました。

正式には現在、国会で継続審議中の国鉄経営再建促進特別措置法案の成立を持って政令で決定されるというものの、これはわたしたち市民の生活を脅かす大きな問題です。

同法案は、赤字ローカル線のバス転換などの地方交通対策を柱としているのが特徴で、赤字

線（1日1キロ輸送人員2,000人以下）をバス輸送か第3セクター（政府、地元出資の民間会社）などによる民間運営に切り替えようというもので、国鉄松浦線（93.9キロ）が、この対象路線となっているものです。

国鉄松浦線の乗車人員は1日1キロ当たりの平均で1,895人

（51～53年度平均）です。

この乗車数は、国鉄の赤字ローカル線の廃止基準2,000人以下のボーダーラインまであとわずかなだけに、同線沿線4市15か町村は存続期成会を結成して存続陳情活動を行う一方、通勤通学者などの国鉄利用を積極的に呼びかけています。

## 大規模な反対決起集会

### 市民1,200人が集う

国鉄の松浦線廃止計画に反対する伊万里市期成会（会長＝竹内通教市長）が核となって、10月27日、市民会館に約1,200人の市民が集い大規模な反対決起集会を開きました。

松浦線は伊万里、北松地域にとっては代替のきかない動脈的な存在で、通勤通学はもちろん今後の伊万里湾総合開発計画で重要な役割を担うものです。

期成会は市、市議会、商工会

議所、労働団体、農協、駐在員会、学校、青年団、婦人会など各団体をもうらして組織し、4月17日に結成したもので、新聞折り込みによるPRや市内要所に看板、横断幕をかけた。市民にアピールをしてきました。

松浦線の廃止は市民生活に致命的な打撃を与えることとなります。生活を守るためにわたしたちの手で存続運動に立ち上がりましょう。



松浦線(93.9キロ) 1,895人  
(数字は過去3年平均の1キロ当たりの輸送人員)



# 廃止問題を追う

キャンペーン  
シリーズ No.26

## 生活の足、存続を

廃止寸前の窮地に立たされている松浦線——。

存続期成会は見切り発車の松浦線廃止の絶対反対、バス輸送や民間委託に同意しないなど、同線廃止の反対決議を全会一致で採決し、存続に向けて幅広い乗車運動を展開するなど、活発な活動を推進しています。

生活の足である「松浦線」をみんなで守りましょう。

### 住民に密着した交通機関

伊万里北松地区 食品店組合連合会長 森 勇さん



松浦線の廃止計画には驚き、これから先どうなるものかと不安でいっぱいです。

何しろ30年間、松浦線を利用し朝市で仕入れをして生計を立てていますので、廃止になったその日から商売をすることが出来なくなります。これは私個人の問題だけでなく多くの人々が路頭に迷うことになるのではないのでしょうか。

私たちは国鉄によって生活を保ってきたもので、廃止問題をだまって見過ごすわけにはいき

ません。沿線住民の生活に密着した生活交通機関を赤字ローカル線ということで切り捨てることは、地方の時代に逆行するもので許しがたいものだと思います。それを守るのが政治ではないでしょうか。

### 路線廃止は生活の足を奪う

山代町浦之崎 坂田 ウイ子さん



私の子供は中学から高校と今日まで6年間、通学に国鉄松浦線を利用してきました。

松浦線は高校生だけでも約900人が利用していると聞いており私たち沿線住民の足となっています。

私の子供は来春には卒業し進学しますので、当分は利用することもなくなりますが、その分また新たな学生が利用します。

松浦線を守るために

伊万里市助役 富村繁雄

松浦線が廃止になると、市民生活への影響はもちろん、これからの伊万里湾開発に大きな影響を与えることは必至です。

市民の足となっている松浦線の存続を関係市町村と連携し、同線沿線の4市15か町村で存続期成会を結成して、積極的に働きかけています。

松浦線を廃止から守るためには、市民運動として市をあげて立ち上がらなければなりません。

市民の皆さんと力を合わせて松浦線の存続に努力していきましょう。



▲松浦線廃止反対の市民決起集会(10/27)

廃止問題はこれまでの利用を振り返ってみて、人ごとと放っておくわけにはいきません。

路線廃止は沿線住民にとって生活の足を奪われることでありたいへんなことです。

国鉄が再建のために合理化を行う必要があることは理解できますが、私たち地域住民の足となっているローカル線の廃止は絶対しないであってほしい。



# ありがとう あなたの善意

## 心あたたまる町の話

～その22～

### 車いすでボランティア活動

#### ボーイスカウト育成に情熱を注ぐ田代さん

身体の不自由にもめげず車いすに乗って社会奉仕活動に励んでいる方がおられます。

この方は、栄町の田代秀馬さん(52歳)で、下半身不随という逆境にありながら社会に役立ちたいと、ボーイスカウトの育成を通じて子供たちの健全育成に情熱を注がれているものです。

11年前、立川鋳業所に勤めていたとき落盤事故で脊椎を損傷され、それ以来、車いすで生活されているものですが、スカウト指導歴20年の経験を生かし、伊万里第1団の副長として、また事務局長として育成に励んでおられるものです。

田代さんは「私自身がボーイスカウトで生きがいを見つけて

もらった方で、これまでの経験を生かし自分にできる能力の範囲内でいくらかでも社会のお役に立てばとがんばっています」と語っておられました。



▲ボーイスカウトの指導に励む田代さん

### 町を美しくとゴミ拾い

#### 美化運動に励む南波多町青年団

ふるさとを美しくと願う若者たちが、道路沿いに捨てられたゴミを拾い集めています。

この若者たちは、南波多町の青年団(斎藤豊彦団長=80名)の皆さんで、3年前から奉仕活動として国道202号沿いの池の畔から北波多村との市境まで約8kmの道路沿いに散乱

しているアキカンなどのゴミ拾いをしているものです。

この奉仕活動は2か月に1回日曜日にゴミ袋を持って青年団員が手分けして行っていますが毎回約30袋のゴミが出るということです。斎藤団長は「アキカンが多いのに驚きます。唐津・福岡方面にぬける幹線道路なので通過する車から投げ捨てられているようです」と語っておられその対策に『ゴミは捨てないでください』と表示した看板を立てるなどして、美化運動を呼びかけていました。



▲沿道のゴミ拾いをする南波多町青年団の皆さん

【お詫びと訂正】 10月号に掲載した善行「おじちゃんありがとう」の中で「高森秀雄さん」とあるのは「藤森秀雄さん」の誤りです。お詫びして訂正いたします。





▲いまり秋祭り (10/17~19)  
降りしきる雨の中で、みこしとダンジリは激しい合戦をくり広げました。



▲県体で伊万里中学校区が初優勝 (10/4・5)  
第33回県民体育大会が伊万里・西松浦郡で開催され、町村対抗で伊万里がみごと初優勝しました。

## いま伊万里で

▶合同相談所を開設 (10/16)  
法律・人権・行政などの問題で26件の相談がありました。



▶国見台陸上競技カーニバルを開催 (10/10)  
県内外から約800人の選手が参加し、大会新が7人も出るなど好記録が続出した。



▶赤い羽根共同募金運動が始まる (10/1)  
初日の10月1日、ユニード前、玉屋前などで街頭募金が行われました。

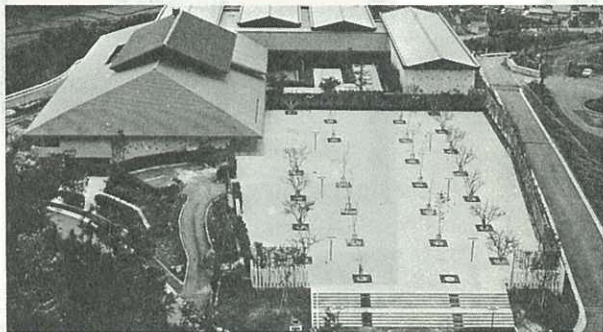


▲第1回伊万里市民展を開催 (10/9~12)  
日本画、洋画、書など87点の応募があり身近な美術展として大好評でした。



# 九州陶磁文化館で開館記念展

一般公開は11月2日から



有田町に完成した  
県立九州陶磁文化館

佐賀県立九州陶磁文化館が有田町に完成し、11月2日から開館記念展覧会が開催されます。

九州の陶磁器に影響を与えた中国、朝鮮の陶磁器をはじめ、江戸時代の九州各窯の特色を示す伝世品や参考資料を一堂に集めた展覧会です。

ぜひ一度ご覧ください。

▲会期 11月2日～12月7日

## 税を知る週間

11月11日～17日

伊万里税務署では、わたしたちの生活に深いつながりを持っている税金について、正しい理解をしていただくため「税を知る週間」を設けました。

11月11日から17日までの期間中に

- 1. 税務行政の現状のお知らせ
- 2. 納税者に役立つ税知識の普及

などに重点をおき、税に関する標語や資料、青色(申告)学級、各種租税教室の開設を予定しています。

皆さんもこれらの行事に参加して、税に強くなりませんか。

- ▲料金 ( )は20人以上の団体
- ・大人 300円(200円)
  - ・大学・高校生 100円(100円)
  - ・中学・小学生 100円(50円)

同和对策事業特別措置法が制定されてから既に11年、わたしたちはそれぞれの立場で、同和問題について学習をしてきたと思うが、昨年行われた「同和問題の基本認識」のアンケートの集計からみると、次第に広く理解されてきたことは伺えるが、深まりの点では、まだまだ自分にはかわりない、人ごととしてとらえ「足を踏まれた痛さ」というもの



## 同和教育の深化を願って

東山代町天神 森 清次さん

を真に理解するということには極めて程遠いようである。

豊臣、徳川時代から永年にわたる封建思想は国民の心に深く根ざしており差別体質を払しょくし人間変革にせまることの容易でないことをしみじみ痛感させられたが、これまでの学習や広報などで部落問題をいかに非科学的に又非合理的に認識していたかについても次第に正しく理解

され認識されてきていることも明らかである。

同和問題の本質は、歴史的発展の過程においてつくられた身分制度による差別によって基本的人権が侵害され市民的権利と自由が完全に保障されていないという深刻な社会問題である。このことについて、「理屈は一応わかったが……」という程度の理解の仕方ではないだろうか。

理論だけでは深化は図れない。私たちは、一人ひとりが自分の社会的立場とのかかわりの中で、立場をかえてこのことを考えてみるとか、資料をよく読むこと、人の話をきくことなどによって同和問題について深く、正しく理解することが目的達成に向って大きく前進するものであると信ずる。

(同和教育地域推進員)

## 文芸講演会を開きます

中原勇夫さんを迎えて

市立図書館は県読書グループ連絡協議会との共催により、次のとおり文芸講演会を開きます。多数ご来場ください。

- ▲日時 11月15日(土)  
午後1時30分から
- ▲場所 中央公民館学習室
- ▲講師 中原勇夫氏  
(佐賀大学名誉教授)
- 演題 「文学の心」

—中原先生は歌誌「ひのくに」を主宰され、伊万里市内の小中学校校歌も数多く作詩しておられる当代を代表する歌人です。



# 来春入学児の健康診断を実施

## 11月4日～14日

来年入学する児童を対象にした健康診断を各小学校で行います。通知もれや疑問などがありましたら、はやめに市教育委員会学校教育課（☎③2111 内線457）へご連絡ください。

各学校の実施日は次のとおりです。

- ▲11月4日（火）・大川小
- ・松浦小
- ▲11月5日（水）・黒川小（立目分校を含む）・波多津小
- ・二里小
- ・東山代小
- ・山代西小
- ▲11月6日（木）・牧島小
- ・南波多小
- ・滝野小（下分・日南郷分校を含む）
- ▲11月7日（金）・大川内小
- ・波多津東小
- ▲11月10日（月）・波多川小
- ▲11月11日（火）・伊万里小
- ▲11月12日（水）・山代東小
- ▲11月14日（金）・大坪小
- ・東黒川小

### 狩猟シーズン開幕

### 電話線にご注意

毎年、狩猟のシーズンになると、各地でハンターが撃った散弾によって電話線が被害を受ける事故が起こっています。

大切な電話を一瞬でも止めることがないようご協力ください。

（伊万里電報電話局）



次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

#### 社会福祉事業費へ

#### ◆香典返しを寄付

- ・小田部徳市（亡母ヒサ 脇田町）
- ・中島勝子（亡夫雪雄 大坪町上古賀）
- ・立石みつよ（亡夫愛二 東山代町脇野）
- ・松尾綾子（亡義父鶴次 今町）
- ・中島貞次（亡父末吉 脇田町脇田）
- ・瀬戸春人（亡姉淑子 南波多町府招上）
- ・梶原 實（亡長男八郎 黒川町畑川内）
- ・大島ユキノ（亡夫嘉八 山代町久原二区）
- ・久保茂敏（亡叔父芳三 波多津町浦）
- ・長野ハツノ（亡夫儀助 黒川町塩屋）
- ・尾崎久子（亡夫陽次郎 二里町八谷揃）

#### ありがとう



ご支援ありがとうございました

- ・出雲辰次（亡妻イチ 東山代町川内野）
- ・橋口宅次（亡長男の妻政子 大川内町岩谷）
- ・釘島ミセ（亡夫義光 瀬戸町釘島）
- ・前田キサ（亡姉橋口夕子 二里町川東）
- ・山中信義（亡父富男 二里町川東）
- ・堀田悦雄（亡父多重 大川町川原）
- ・小島惣助（亡妻クマ 東山代町里）
- ・田中貞美（亡母マス 波多津町浦）
- ・森百合子（亡夫博 立花町東円）
- ◆篤志寄付
- ・老万円 奥村正辞（大川町井手口 亡母祥月命日につき社会福祉事業費へ）
- ・三万、八三〇円 大和プロパン株式会社
- 交通遺児救済資金へ
- ◆香典返しを寄付

- ・池田隆一（亡母トキ 松島町）
- ・心身障害児父母の会へ
- ・老万円 匿名（市内一老人、楠久局消印）
- 教育振興奨励基金へ
- ◆香典返しを寄付

- ・福田恒男（亡母イマ 二里町川東）
- ・坂口寛直（亡妻怜子 大坪町白野 教育振興奨励基金および南波多小へ）
- ・前田キサ（亡姉橋口夕子 二里町川東）
- ・川崎静子（亡夫喜人 松浦町宿分 松浦小へ指定）
- 体育振興奨励基金へ

- ・老万円 中島紘一（新天町六五四）
- 明るい町づくり推進資金へ
- ◆牧島公民館建設資金
- ・岩本利之（亡母シマ 瀬戸町本瀬戸）
- ◆大坪公民館
- ・坂口寛直（亡妻怜子 大坪町白野）
- ◆大川内公民館
- ・岩橋 一（亡父繁雄 大川内町市村）
- ◆黒川公民館
- ・三万円 高野公子（黒川町名村団地ケガの見舞返し）
- ◆南波多公民館
- ・桑本壽朗（亡母ハルミ 南波多町古川）
- ・佩川辰次（亡母イチノ 南波多町古川）
- ・梅村光雄（亡父宗助 南波多町笠樵）
- ・二万円 松尾忠郎（南波多町府招上 病氣見舞返し）
- ◆松浦公民館
- ・川崎静子（亡夫喜人 松浦町宿分）
- ◆二里公民館
- ・池田シヅ子（亡弟好秋 二里町内の馬場）
- ・永田政六（亡妻ソノ 二里町内の馬場）
- ・福田恒男（亡母イマ 二里町川東）
- ・山中信義（亡父富男 二里町川東）
- ◆山代公民館
- ・松本富三代之一（亡母キヨ 山代町久原）
- ・大島ユキノ（亡夫嘉八 山代町久原）
- ・老万円 久原飯盛会



# こどものページ

## —秋空に飛ばそう— 手作り飛行機

### 珍しいヘソの緒切り

松浦町の諏訪神社



◀ 大きなしめなわを切る  
ヘソの緒切りの神事

ヘソの緒切りという珍しい神事が、10月22日松浦町で行われました。

これは松浦町桃川の諏訪神社に古くから伝わる神事で、よいやみの迫るころ武雄市若木町と境の鹿路峠に出かけ、道路に直径20cm、長さ3mのしめなわを張って、武雄方面から最初にやってくる男子に刃をつぶしたカマで切ってもらうものです。

この神事は、江戸時代の弘化4年（1847年）の記録にも残っている古い祭りです。昔、鹿路峠を通行中の高貴な婦人が産気づき、村人たちの介抱で無事に男児を出産しました。そのとき赤子のヘソの緒を陶片で切ったのがはじまりで、やがてその子が成長し、農民のためにつくしたと言いつづられ、同神社に祭る諏訪大命神となっています。

今年は西有田町の建設作業員

山口武義さん（32歳）が、見物客150人の見守るなか、振る舞い酒に顔を赤くしながら汗だくでしめなわを切っていました。



青少年のボランティアグループ「竹の子会」は飛行機大会を次のとおり開きます。

- ▲期日 11月9日（日）
- ▲時間 午前9時から
- ▲場所 大坪公民館運動場
- ▲種目
  - 幼児……折り紙飛行機
  - 小学1年～3年…グライダー
  - 小学4年～6年…A級飛行機
  - 中学生……B級飛行機

参加希望の方は11月5日までに事務局（二里町金武、田中耕太郎さん、☎③4572）へ。

## 楽しいアイデアがいっぱい

### 子供創作みこし

いまり秋祭り、が行われた10月19日、市内の子供クラブやスポーツ少年団などがいっしょうけんめい作った「子供創作みこし」が、伊万里の町をねり歩き、沿道につめかけた、たくさん見物客からさかんな拍手をあげました。

今年は16の創作みこしが出場しましたが、伊万里特産の焼き物やフルーツなどを型どったもの、郷土に伝わる文化財や建物を作っもの、みんなの大好きな人気まんがの主人公を作った

ものなど、楽しいアイデアがいっぱいのみこしができあがりしました。

皆さんの協力で秋祭りがいっそうにぎやかになりました。



▲ドラえもんも登場した子供創作みこし